

JAしまねびより

2019
8
August Vol.41

今月の特集 JAしまね 第5回通常総代会開催



Naomichi

瀬幣姫神社 (浮布池)
大田市 三瓶町



第5回

通常総代会特集

J Aしまね第5回通常総代会を6月30日（日）、松江市の島根県民会館で開催しました。



議長団



投票風景

当日は、総代定数1,000人（欠員14人）に対し、965人（本人出席575人、委任状5人、書面出席385人）の出席、議長団に、稲田宗総代（くにびき地区本部）、西川友史総代（西いわみ地区本部）の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。竹下組合長が「今年の5月31日をもって政府が定めた『農協改革集中推進期間』が終了した。一定の評価はあったものの、予断を許さない状況は続いている。このような時だからこそ、協同の力を結集するとともに関係機関との連携を強化し、人・農地・地域資源をフルに活用した『農業者の所得増大』『農業生産の拡大』へのさらなる挑戦、そして『地域の活性化』への貢献として、組合員の皆さまの声に基づいた総合事業とJA運営を行っていく」とあいさつ。

来賓の丸山達也島根県知事からは、「昨年6月に県が掲げた農業産出額100億円増加の目標に向け、先般JAグループ島根と島根県の間で目標の早期達成に向けた共同宣言を行い、車の両輪として双方が全力を尽くすことを改めて宣言した。令和という新しい時代にふさわしい積極的な姿勢で連携関係を構築し、水田園芸をはじめとする魅力ある農業の確立、島根の強みを活かした特色ある生産の振興、地域を支えていただく中核的な担い手の確保を強力に推進していきたい。活力ある農業・農村の実現に向けて、引き続き全力で取り組んでいく」との言葉をいただきました。

また、役員改選を行い、その後の理事会において新組合長に石川寿樹の就任が決定しました。石川新組合長のもと新たな執行体制がスタートしました。

平成30年度 事業報告

平成30年度は、経済の緩やかな回復の中、企業の設備投資は堅調に推移し、個人消費も持ち直しの傾向となった一方、世界経済の緩やかな減速を背景に輸出は伸び悩み、景気の足踏み感が見られました。

また、海外では米国と中国の経済対立による貿易戦争とも呼ばれる関税政策の応酬や英国のEU離脱を巡る混乱、リーダー照射事件や元徴用工問題による韓国との関係悪化など、国際的な政治・経済の先行きも不透明感が高まっています。

島根県内の経済を振り返ると、雇用情勢は改善の動きが見られ、個人消費も緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、少子高齢化、人口減少は一段と進展していく見込みであり、景気回復の実感を得るには至っていません。

農業情勢では、豪雨や台風、地震など多くの自然災害が発生し、全国各地で農産物・農業施設等に甚大な被害をもたらした他、9月に発生した豚コレラはいまだ終息の気配が見えず、復興・防疫の取り組みを引き続き進めていく必要があります。

国際貿易交渉では、平成30年12月にTPP11、平成31年2月に日EU・EPAが発効するなど、関税の削減や撤廃に向けた動きが始まっています。今後、米国との二国間交渉が開始される見込みであり、これらの動向について引き続き注視していく必要があります。

組織情勢では、平成30年6月に公表された農

林水産省による「農協の自己改革に関するアンケート調査」の結果で浮き彫りとなった、自己改革にかかるJAの取り組みと認定農業者等の認識との乖離について、解消に向けた担い手との対話を一層進める必要があります。また、農協改革集中推進期間が期限を迎えることから、平成30年12月から取り組みを始めた「JAの自己改革に関する組合員調査」の結果を受けた組合員との関係強化やJAへの理解促進に向けた取り組みについても引き続き進めていく必要があります。

こうした状況の中、平成30年度は「農業戦略実践3カ年営農計画」の最終年度として、県や市町村、関係機関と連携し、営農指導と経営指導を通じた農業所得の増大、農業生産の拡大に向けた取り組みを実施しました。

取り組みの結果、販売品販売・取扱高が37,752百万円、購買品供給高が33,915百万円、貯金残高が977,670百万円、貸出金残高が298,851百万円、長期共済保有高3,438,480百万円となりました。また、財務状況の安全性を示す指標である自己資本比率は14.06%となりました。

収支面については、事業利益が1,628百万円、経常利益は2,594百万円。当期剰余金は1,869百万円となり、前年度実績を大きく上回りましたが、貸倒引当金の算定方法を変更したことにより、特に信用事業において貸倒引当金戻入益が933百万円発生したことが主な要因です。

財務・事業成績の推移

(単位：百万円)

区分	項目	平成29年度	平成30年度
財務	事業利益	1,016	1,628
	経常利益	2,189	2,594
	当期剰余金	609	1,869
	総資産	1,092,634	1,113,478
	純資産	77,986	79,235
信用事業	貯金	984,693	977,670
	預金	499,645	522,005
	貸出金	299,671	298,851
	有価証券	167,390	155,212
	国債	80,375	78,123
	その他	87,015	77,088
共済事業	長期共済保有高	3,541,460	3,438,480
	短期共済新契約掛金	10,184	9,805
購買事業	購買品供給高	34,014	33,915
販売事業	販売品販売・取扱高	38,129	37,752

(注1) 貯金は譲渡性貯金を含む。

(注2) 販売品販売高・取扱高は受託販売品と買取販売品の合計。

平成30年度(第5事業年度)剰余金処分

(単位：円)

1. 当期末処分剰余金	2,643,671,345
2. 剰余金処分額	1,983,530,105
(1)利益準備金	374,000,000
(2)任意積立金	1,386,464,000
農業振興積立金	200,000,000
農業災害積立金	200,000,000
教育研修充実積立金	150,000,000
税効果積立金	236,464,000
信用事業システム開発積立金	200,000,000
BIS規制強化対応積立金	200,000,000
施設等更新積立金	200,000,000
(3)出資配当金	223,066,105
3. 次期繰越剰余金	660,141,240

(注1) 出資配当金は年1.0%の割合である。

(注2) 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額93,486千円と、地区本部業績還元費用に充てるための繰越額100,000千円が含まれている。

令和元年度 事業方針

農業振興

方針

令和元年度は「第2次農業戦略実践3カ年営農計画」の初年度となり、第1次計画での成果と反省を踏まえ、島根農業のモデルとなる経営形態を提案することにより農業戦略を明確にし、多くの組合員がJAに結集することで「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現につながる目標の達成に向けて取り組みます。

また、JAしまねがリーダーシップをとり、更に組合員の経営基盤の強化を進め、島根県が目標に掲げた「農業産出額目標730億円」「生産農業所得目標300億円」の目標達成に向け取り組みます。



重点事項

- ① 新規就農者を含む地域の担い手育成
- ② 担い手経営体の経営課題に対応した農業経営管理支援
- ③ JAの総合力を発揮した事業承継支援の実施
- ④ 農作業等の安全・安心対策
- ⑤ 営農指導での生産者貢献
- ⑥ 農業振興支援事業の実施
- ⑦ 「重点推進5品目」の拡大を核とした水田での園芸振興の推進
- ⑧ 主食用米の「きぬむすめ」「つや姫」への品種誘導
- ⑨ 島根県産農畜産物の安全安心の取り組み
- ⑩ 担い手の労力軽減の取り組み

全般

くらしの活動

豊かなくらし・地域づくりを目的とし、地域活性化の核となる取り組みとしてすすめます。

また、食と農、地域とJAを結ぶ取り組みとして、青年組織、女性部をはじめ組合員や地域住民など幅広い参

加・参画（アクティブ・メンバーシップ）を促進し、農協運動の活性化を図ります。

販売事業

しまねブランド商品として市場や卸に頼らない県産農畜産物の販売の強化に取り組みとともに、生産基盤の維持・拡大を図るため、「農業戦略実践3カ年営農計画」に掲げた「販売を起点としたものづくり」の実現に向け、行動計画を策定し進捗管理を行うことにより、生産現場での営農指導と販売を連携させた実践策を講じます。

購買事業

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、営農指導部門・販売部門・TACと一体となって効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

また、組合員・地域住民の暮らしを支援し、地域の活性化に貢献するとともに、時代の変化・多様なニーズに対応した商品の提供が行えるよう、生活購買事業・店舗購買事業・自動車燃料

事業を積極的に取り組み、より一層のサービスの充実に努めます。

信用事業

総合事業の強みを活かして他業態と差別化した価値を提供しつつ、コスト削減につながる事業見直しにより持続可能な収益構造を構築し、農業・地域から一層必要とされる存在を目指します。

共済事業

組合員・利用者のくらしを守り、農業経営と地域社会に貢献する活動を展開するため、地域密着の事業活動である3Q訪問活動を通じて「ひと・いえ・くるま」の総合保障の提供及び「農業リスク診断活動」を実践し、一層の『信頼』を高めるとともに、次世代・次世代など新たなJAファン（理解者）づくりにより事業基盤の維持・拡大を図ります。

また、高位均質で満足度の高いサービスの提供、適正・迅速かつ効率的な事務処理の実施及び「Labels」（※携帯用タブレット端末）の全面活用により事業の効率化・機能強化を図り組合員・利用者ニーズに応えます。

新役員代表挨拶



代表理事組合長
石川 寿樹

この度、竹下前組合長の後を受けて、組合長に就任致しました石川でございます。もとより、その器ではございませんが、よろしく願い申し上げます。

若干自己紹介をさせていただきますと、わたしは昭和27年生まれ、満66歳になります。昭和52年に当時の出雲市農協に入り、爾来42年に亘り、JA一筋に歩んでまいりました。

さて、7月より3年の任期をいただいたわけですが、わたしに課せられた役割は、大きく二つあると思っております。

その一つは、「統合の効果」を更に発揮することです。平成27年3月にJAしまねが誕生し、早いもので4年余りが経過しました。徐々にその成果が現れつつありますが、とは言え、統合して良かったなあ実感

できるようなレベルには達していません。まだまだ調整すべき事項がたくさん残っていますので、速やかに統一していく必要があります。

そして今一つは、「自己改革」の更なる実践です。政府主導の農協改革の集中推進期間は本年5月を以て一応のピリオドが打たれました。しかしながら、われわれ自らが掲げた「自己改革」は、むしろこれから本番です。例えば、柱の一つである「農業者の所得増大」については、生産資材価格の引き下げ等に取り組みでまいりましたが、まだ引き下げの余地があると思っています。

また、「農業生産の拡大」についても、米の買取制度や独自の農業振興支援事業により、販売高は統合前と比較すると、平成30年度は13億円増の377億円となりました。更に令和3年度を最終年度とする次期中期経営計画では、39億円増の416億円の計画を立てています。自ら立てた計画を絵空事で終わらせるのではなく、目に見える形で実践していくことが、何よりも重要な使命だと思っています。

最後に、今後一層のご理解とご協力をお願い申し上げます、ごあいさつといたします。

退任役員代表挨拶



前代表理事組合長
竹下 正幸

退任にあたりごあいさつを申し上げます。

先の通常総代会を以て、任期満了により平成28年6月より務めてまいりました、代表理事組合長を退任いたしますこととなりました。

在任中大過なくその任を果たせましたのも、組合員の皆様をはじめ、関係機関、各団体、地域の皆様、そして職員の皆様など、本当に多くの方々のご理解とご協力の賜物と、心から感謝を申し上げます。ごあいさつ。

振り返ってみますと、JAしまねの発足以後、「信頼され、選ばれ、ご利用いただけるJA」を目指し、統合メリットの創出に向けて事業改革や運営改革などに取り組みとともに、「儲かる農業の実現」を目指し、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を重点課題として自己改革に取り組んで参りま

した。

また、JAの経営は経済情勢と社会情勢の変化もあり、非常に厳しい状況にあるなか、組合員の皆様の負託に因應するためには、JAの健全経営を行う体制整備に併せ、事業改革を実施する事が、私たちに課せられた課題であります。このような中、第4回通常総代会において、次期に向けた運営改革の決議をいただき、平成30年11月の臨時総代会では役員定数の見直し等の新たな運営体制についてご承認いただき、体制整備を行うことができました。一方、事業改革では、信用共済事業において、本店と支店を直結する文鎮型組織とし、事業部制的運営とするなど、一定の方向性を決定しましたが、営農経済生活事業につきましては、取り組まなければならない今後の課題が残存しています。JA改革においてはTTPやTAG等、JAを取り巻く農業情勢は依然厳しい状況が待ち受けておりますが、今後も組合員の皆様のご協力をいただき、役職員一同が共通認識を持ち、一丸となって取り組むよう期待しています。

組合員の皆様には、引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、心からの感謝を申し上げます、退任のごあいさつといたします。



新役員紹介

J Aしまねの発展につとめてまいります。
よろしくお願ひ致します。



常務理事
(信用、共済)
有田 吉弘



常務理事
(営農、経済)
石川 薫



代表理事専務
高木 賢一



代表理事副組合長
山根 盛治



代表理事組合長
石川 寿樹



くにびき地区本部
常務理事 本部長
栗原 令



理事
佐々木孝子



理事
高野 智子



理事
諏訪 智子



理事
小村 伸治



やすぎ地区本部

理事
根来 茂樹



やすぎ地区本部

常務理事 本部長
伊藤 精一



くにびき地区本部

理事
多久和 宏



くにびき地区本部

理事
田中 鈴夫



くにびき地区本部

理事
菅井 一



隠岐地区本部

常務理事 本部長
佐々木賢治



雲南地区本部

理事
澤田 秀樹



雲南地区本部

理事
石原 公夫



雲南地区本部

理事
新田 昭喜



雲南地区本部

常務理事 本部長
竹下 克美



出雲地区本部

理事
藤江美由紀



出雲地区本部

理事
福島 隆



出雲地区本部

常務理事 副本部長
珍部 誠



出雲地区本部

常務理事 本部長
岡田 達文



隠岐どうぜん地区本部

常務理事 本部長
新谷 徳昭



斐川地区本部

理事
青木 広幸



斐川地区本部

常務理事 本部長
山根 善治



出雲地区本部

理事
永瀬のり子



出雲地区本部

理事
伊藤 篤男



出雲地区本部

理事
立脇 渉



いわみ中央地区本部

常務理事 本部長
佐々木 豊



島根おち地区本部

理事
山田 康司



島根おち地区本部

常務理事 本部長
日高 光弘



石見銀山地区本部

理事
川上 隆



石見銀山地区本部

常務理事 本部長
山崎 辰次



西いわみ地区本部

理事
青木 和憲



西いわみ地区本部

理事
中島 重秋



西いわみ地区本部

常務理事 本部長
田村 清己



いわみ中央地区本部

理事
藤若 将浩



いわみ中央地区本部

理事
中東多久夫



監事
川神 守



監事
岡 睦夫



常勤監事
田尻 宏



常勤監事
青砥 正幸



代表監事
名原 佳宏



雲南地区本部

執行役員副本部長
源 之美



くにびき地区本部

執行役員副本部長
奥原 展芳



員外監事
山川 博司

第5回 総代会



Q1：正組合員、准組合員ともに減ってきている。このことについて、これまでの取り組みや今後の対応策を聞きたい。

A1：統合以前より高齢化や死亡による脱退が進む一方で、若年層の加入が進まない状況にあります。今後の大きなテーマとして、我々の組織基盤維持の観点で検討して参ります。その中で、平成29年度より一戸複数正組合員化の取り組みを展開しており、今年度も継続して取り組む計画を立てています。また、増資の取り組みとして役職員による増資運動を前年度と今年度の2年間取り組む予定としています。

Q2：農林中金からの人材受け入れの背景や、奨励金の引き下げの課題への対応等の考えを伺う。

A2：農林中金は農業振興への資金支援が厳しくなるなか、全国で400名、島根県に3～4名程度の農林中金の職員を派遣する人的支援に方針が変わってきています。また今回の役員改選では農林中金から理事を受け入れる提案としています。奨励金の引き下げは以前から話があり、大変厳しい内容の中で中期3カ年計画を策定いたしました。事業改革を含めてこれから取り組んでいく考えです。

Q3：貸倒引当金の算出方法の変更に伴う戻入益10億円とあるが、変更となった経過を確認したい。

A3：公認会計士監査や財務処理の基準例が変更になり、これまでの税法基準から、貸倒実績率に基づく引当てを合理的な基準として引当てることとなりました。その結果、これまで引当てていたものを戻し入れることになりました。

Q4：県内農業の持続可能な発展に向け、様々な担い手・後継者対策がなされてきたが、目覚ましい解決に

は至っていない。これからは行政との連携を更に進め対応することが求められるが、JAしまねの社会的使命を今一度伺いたい。

A4：非常に大きな課題であり、JAのみならず島根県をあげて取り組むべき問題とと思っています。特に農家を中心とした中山間地の人口減少には、産業政策、農業振興政策、そして住みよい町づくりといった課題のもとに、行政や地域の皆さんと一緒に取り組む問題とと思っています。その中で、JAも率先して取り組んで参ります。

Q5：教育研修機能を県中央会へ移管するとあるが、考え方やあるべき姿を伺う。また事業総利益に基づく配置ではなく、農家が必要とする人員配置や要因管理をお願いしたい。農業は土地と結びついた生産作業であり、農業者に寄り添った職員の教育が中央会にできるのか不安に感じる。地元に着した教育研修をもっと取り入れてほしい。

A5：統合により教育研修の担当部署を県中央会からJAしまねの内部部署に移管した経過があります。その後の検討で、教育研修についてはJA内部よりも外部の機関がJA職員研修、育成にあたるべきであるとの考えがまとまりました。全国中央会が教育研修の統括機関として存在している中、全中、県中にてJAしまねの職員教育、人材育成を行うかたちに体制を変更するものです。またJAの事業は総合事業ですので、人員配置にあたっては事業の特性、実態を念頭におきながら基準を定め今後再配置等を実施して参ります。地域に着した教育研修についても検討して参ります。

このほかにも幅広くご意見をいただきました。



報告事項

「JAバンク基本方針」の変更について

第15号議案
令和元年度における監事の報酬額の決定について

第14号議案
令和元年度における理事の報酬額の決定について

第13号議案
退任監事に対する退職慰労金の支給について

第12号議案
退任理事に対する退職慰労金の支給について

第11号議案
令和元年度指導事業に要する経費の賦課及び徴収の方法の決定について

第10号議案
会計監査人の選任について

第9号議案
経営基盤強化積立金規程の一部改正について

第8号議案
監事監査規程の一部変更について

第7号議案
規約の一部変更について

第6号議案
定款の一部変更について

第5号議案
役員を選任について

第4号議案
令和元年度事業計画の設定について

第3号議案
令和元年度事業計画の設定について

第2号議案
令和元年度（令和2年度）の2次中期経営計画（令和元年度～令和3年度）の設定について

第1号議案
平成30年度事業報告及び剰余金処分案について

本総代会にて付議した議案は次のとおりです。



「JAしまね自己改革取組宣言」 に基づき、自己改革を一層進めて まいります。

6月30日の第5回通常総代会において、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標の実現に向けて、引き続き、組織を挙げて取り組む旨の「自己改革取組宣言」(案)が満場一致で採択されました。

JAしまね 自己改革取組宣言

JAは、農畜産物の販売事業のほか、信用事業、共済事業などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動などを通じて総合的に結びつけ、農業振興や地域づくりに取り組んでいます。「総合事業」として実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、組合員の負託に応えることが可能となっています。

また、人口減少や高齢化が進むなか、JAの各事業・サービスの提供による生活インフラ機能の発揮と、「食と農」、「助け合い」の視点から、組合員だけでなく地域住民の方々にも参加いただく「JAくらしの活動」の展開が、ますます重要なものとなってきています。

近年、農業者である正組合員に加え、JAの事業を利用し、JAの理念・活動に賛同いただける地域住民の方々の准組合員加入が増えています。准組合員の立場から、JA、農業者が進める「食の安全・安心」の取り組みを「地産地消」という形で後押しするとともに、JAが行う各組織活動への参加によって、地域農業を支える「農業振興の応援団」となっています。正組合員と准組合員の一人ひとりが力を合わせ、地域の農業とくらしを支えあっているのです。

こうした環境・背景を踏まえ、JAしまねは自己改革の3つの基本目標の実現に向けて、組合員の皆さまとともに、以下のとおり組織をあげて取り組みを進めてまいります。

記

1. 農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組めます。
2. 協同組合の原点に立ち返り、組合員の皆さまとの話し合いを、より一層深めていきます。
3. これまでも、これからも、JAしまねは総合事業を展開し、地域にとって、なくてはならない組織であり続けます。

以上

令和元年6月30日

第5回 島根県農業協同組合 通常総代会



雲南

農業者・女性部健診新設 対象広く項目充実

雲南地区本部とJA島根厚生連は、農業生産や日々の生活の土台となる「健康づくり」を支援しようと、今年から新設した「農業者・女性部健診」を6月21日に同地区本部で実施しました。

農業従事者や女性部員をはじめとした組合員が対象で、一般的な健康診断の項目にはない、胸部CT検診（40歳以上）や甲状腺検査などがセットとなって、JAグループの助成により7,000円で受けることができます。健診を受けた女性は「かかりつけ医では受けられなかった血液、尿検査の他にも色々検査できてよかった。来年も受けたい」と健診内容に満足した様子でした。

JA島根厚生連健診普及部の江角幸夫部長は「受診者アンケートでは約40%の方が、毎年健診を受診していない現状にあり、JAグループが魅力ある健診を提供し、直接、組合員に呼び掛けることは大いに意義がある。今年は県内全11地区本部で実施を予定しており、各地区本部と協力して取り組みを進めたい」と話しました。



「農業者・女性部健診」を受ける女性

くにびき

カボチャを重点振興品目に！ 6月下旬より共販出荷を開始

くにびき地区本部は7月2日、中海干拓研修センターで「カボチャ出荷検討会」を開催し、生産者やJA職員、各市場担当者など43名が参加しました。

6月27日より、松江市内の市場を中心に広島や大阪の市場に向け、共販出荷を開始しており、品質や生育状況、出荷する際の規格や品質基準、収穫適期、保存方法を確認する目的で開催しました。

当日は、松江合同青果や広印広島青果、東果大阪の担当者が市場の情勢について解説。続いて、営農指導課の犬山浩二園芸特産係長が「収穫後にキュアリングをすることで腐れを防ぎ、甘みも増す。収穫適期を逃さず、適切な保存に努めてほしい」と説明しました。その後、参加者は出荷前のカボチャを実際に手に取ったり、試食したりするなど品質や味を確認しました。

同課の岩田政彦課長は「昨年より重点振興品目として取り組んでいる。ほくほくとした食感と濃厚な甘みを堪能してほしい」とPRしました。

参加した吉岡清さん（朝酌町）は「コクがあり、おいしいカボチャなのでたくさんの方に食べてもらいたい」と話しました。

今年度は共販面積を1.6haから3.5haに拡大。出荷量は92tを計画しており、出荷は8月末まで続きます。



カボチャを手に取り状態を確認する参加者

隠岐

JA女子大学で ぶどう狩りを体験

JAしまね女子大学隠岐キャンパスは7月27日、第8回目の講座として日帰り修学旅行を行いました。朝早くから高速船レインボーに乗船し、出雲地区本部管内でぶどう園を経営する大社観光ぶどう園へ出かけました。ぶどう園では、今が旬の「デラウェア」狩りを体験し、出雲地区本部管内の特産品であるぶどうを味わうことができ、参加した生徒からは「甘くて大変おいしい」と好評で、1人2房程度はぺろりと食べていました。今年は天候不順等の影響で良品が例年に比べて少ないとのことから、生徒からは「良品のぶどうが沢山ある時にまた来たいね」と声が聞こえました。

ぶどう狩りの後は、歴史を感じる体験を目的に松江の堀川遊覧船に乗船しました。隠岐の人間は船に乗る機会が多いものの、風情のある松江城の周辺をゆったりと遊覧できたことは、一緒に旅をした者同士の良い思い出になりました。



やすぎ

ホック食育フェスタで 金芽米をPR

やすぎ地区本部は松江市のくにびきメッセで6月22・23日の2日間、(株)フーズマーケットホックが主催する「ホック食育フェスタ2019」に出展しました。

同地区本部はJAしまねの「金芽米」と「ロウカット玄米」をPRするため、試食や健康特性の説明などを行い、来場者に好評でした。また、家庭でも食べてもらおうと、サンプルとして金芽米3合を400袋プレゼントし、サンプルを受け取った来場者は「今日いただいた金芽米を家族と一緒に食べてみます」と話しました。

今年は食品メーカーをはじめとする約60のブースが出展、2日間で約1万名が来場し大いに盛り上がりました。精米センターの三島裕所長は「金芽米のおいしさを実感してもらおう良い機会となった。さらに金芽米の認知度を高めたい」と話しました。



斐川 美肌はとむぎ料理講習会

斐川地区本部よい食工房は7月9日、ひかわあぐりキッチンふぁみーゆで「誰でも簡単・お手軽レシピ」と題して「美肌はとむぎ料理講習会」を開催しました。はとむぎに興味を持つ13名が参加し、郷土マクロビアンの岡里美さんを講師に招き、「はとむぎ茶飯」「とうもろこしとはとむぎのスープ」など計5品を調理しました。出来上がった料理を岡さんと一緒に堪能しながら、はとむぎについての効果・効能についての説明を受けた参加者は、「地元こんな素晴らしい食材があったなんて驚いた!」「健康と美容のためにも、これからも家族で食べていきたい」などと感想を話しました。健康・美容志向が高まる中、よい食工房では斐川町産のはとむぎの良さを多くの人に知ってもらうために、このような料理講習会を今後も継続して開催していく予定です。



石見銀山 大田市長へメロンを贈呈

温泉津町施設園芸組合の岩倉勝政組合長、厚朴邦広副組合長は7月11日、大田産メロンPRのため大田市役所を訪れ、楯野弘和大田市長に「アムスメロン」を贈呈しました。同組合では7月3日から「アムスメロン」の出荷が始まっています。

早速、試食した楯野市長は「とても甘くておいしい」と感想を話しました。

岩倉組合長は「糖度が高く、美味しいメロンに出来上がっている」と語りました。

大田市長へのメロン贈呈は地元産のメロンを広くPRしていきたいという思いから企画しています。

楯野市長は「暑い中の作業だが、体調に気をつけながら地域のために頑張っていたください」と激励しました。



市長（左）にメロンを贈呈する岩倉組合長（中央）、厚朴副組合長

隠岐 どうぜん 令和初の家畜市場の開催

7月3、4日の両日、新元号初の隠岐どうぜん管内家畜市場が開催されました。隠岐諸島では、春（3月）、夏（7月）、秋（11月）の年3回家畜市場が開催され、島の一大イベントとして風物詩となっています。隠岐どうぜん管内は、知夫里島（知夫村）、中ノ島（海士町）、西ノ島（西ノ島町）の3島3町村で構成されており、各町村に家畜市場が常設されていて、畜産の重要性が理解できると思います。3日の知夫市場を皮切りに、海士市場、翌4日の西ノ島市場と、子牛240頭、成牛22頭の合計262頭の上場となり、前回（3月）市場より上場頭数は減りましたが、平均価格は若干上昇しました。畜産総合施設として開設した西ノ島家畜市場が、関係者の協力によりスムーズな運営となり、無事1周年を迎えた記念を込め、前日の2日に当施設中央広場にて、購買者、畜産農家とJAをはじめとする関係者による、バーベキュー意見交換会を開催しました。出席者の貴重な意見を聞くことができ、有意義なひと時となりました。また、今後もこのような場を設けてほしいとの声が多く聞かれ、畜産の活況に結び付けたいと同時に大きな励みになりました。



出雲 島根県産シャインマスカット 出荷本格化を前に目合わせ

出雲地区本部は7月15日、同地区本部荒茅ぶどう集荷所で令和元年産「シャインマスカット」の出荷目合わせ会を開きました。出荷の本格化を前に、生産者ら約150人が等級規格を確認しました。

同地区本部管内の「シャインマスカット」の作付面積は右肩上がりで増えており、今年産は28ヘクタール（前年比16%増）で栽培します。ギフト需要に対応するため8月上旬までの出荷量を伸ばし、管内の販売金額3億円を目指します。

同部会大粒系部の吾郷均部長は「品質重視で他産地と勝負していく。商品を扱っているという意識を持って、選果選別を徹底してほしい」と呼びかけました。

JAしまねでは、激化する産地間競争に対応しようと、今年産から県下の「シャインマスカット」の共同計算を実施しています。一元的に管理して品質の高位平準化を図るとともに、ロットの拡大で売り場確保、県産「シャインマスカット」の地位向上を図ります。



出荷規格を確認する生産者

西いわみ

益田市長に旬のメロンと ブドウを贈呈しました

旬を迎えるメロンと、大粒系ブドウを味わってもらおうと7月10日、益田メロン部会(部会長大場尚俊)と西いわみぶどう部会(部会長岩本和雄)が揃って益田市山本浩章市長を訪ね、「アールスメロン」と「シャインマスカット」「巨峰」「ピオーネ」を贈呈し益田産農産物をPRしました。

当日は同市常盤町の市長室に、大場部会長と岩本部会長が化粧箱に入った「アールスメロン」と「シャインマスカット」「巨峰」「ピオーネ」を持参しました。

試食した山本市長は「メロンは口当たりが良くとても甘い。ブドウも香りが良くおいしい」と喜びました。

JAでは、今後も管内農産物のPRや販売促進に向けた取り組みを継続していく計画です。



島根
おおち

ケイトウ栽培いよいよ大詰め

島根おおち女性部では営農活動として「ケイトウ栽培」に取り組んでおり、今年で8年目をむかえました。2月に開催した「ケイトウ栽培講習会」を皮切りに、4月中旬からは各支部で「種まき講習会」、5月には「定植に向けた栽培現地講習会」、6月には「栽培管理講習会」、7月には「出荷日合わせ会」を開催し、出荷のピークとなるお盆に向け準備を行っています。天候に左右され、毎年様々な課題もありますが、4月に一粒一粒丁寧に蒔いた種は順調に成長し出荷時期を待っています。今年も「赤」、「オレンジ」、「ピンク」3色のケイトウの出荷を予定しています。

島根おおち女性部では「ケイトウ栽培」の活動を継続していくことで、ケイトウ栽培の輪、そして女性部活動の輪を拡げていきたいと考えています。



ケイトウの生育状態を確認する島根おおち女性部寺内部長

本店

アグリミーティング& 農機総合展示会 大盛況!

6月13、14日の2日間、松江市のくにびきメッセで「アグリミーティング2019」と「第9回農機総合展示会」を開催しました。

今年のテーマは「『新時代』みんなで創るしまねの農業～島根の農業半端ないって!!～」に設定。相談コーナーなど様々なブースや、最新農業機械を展示し、担い手の皆さまが抱える様々な課題の解決に向けて、JAグループの総合力を発揮し提案しました。県内で生産された旬の野菜や果物、加工品を販売し島根農業の魅力を発信する「島根大産直市」も同時に開催し、2日間で担い手や一般消費者あわせて5,500人の皆さまにご来場いただきました。

メインステージでは「下町ロケット ヤタガラス編」の登場人物のモデルとなった北海道大学大学院農学研究院副院長・教授の野口伸氏から、スマート農業技術の必要性や実用化が期待される最新の技術について講演いただいたほか、女性部フレッシュミズ部会がプロデュースした農作業着ファッションショーを行うなど会場は大変盛り上がりしました。



相談ブースやメーカーの展示が並ぶ会場は多くの人で賑わいました

いわみ
中央

青年連盟 出前授業で地域と交流

いわみ中央青年連盟(柿木悟委員長)は7月19日、公民館活動の一環として浜田市社会福祉協議会の生活支援コーディネーターからの依頼を受け、この度、初めてこんにやく作りの出前授業を行いました。当日は20名の参加者を4班に分け、こんにやく芋をサイコロ状にカットするところから作業を始めました。作業中は和気あいあいとおしゃべりしながらでしたが、最終工程の茹でる段階になると、他の班の出来具合が気になるのか、集中し徐々に無言になりました。自分達で作ったものは臭みもなく、格別においしいこんにやくが出来上がりました!参加された皆さんは大満足でした。青年連盟は今後も交流活動や、食農教育活動を積極的に行っていきます。



JA
自己改革
実践中

JAグループ島根

JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介



JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

古谷光教さん（44歳）は、隠岐郡知夫村で繁殖牛を飼育しています。知夫村での飼育は、その環境を活かした放牧が主となりますが、一方で放牧であるが故の事故や牛の行方不明などが起こりやすい状況があります。古谷さんは牛たちが事故にあわないよう、毎日の観察や見回りを徹底するなど、細やかな気配りを欠かしません。

JAしまね農業振興支援事業は平成29年11月に新規就農の際、就農にあたって必要となる牛舎の整備や畜産専用機械の導入、また牛の価格高騰が続いていることから所得の安定を図るため繁殖母体となる雌牛の早期確保に活用しました。

新規就農者や後継者不足など隠岐地域の大きな課題に向け、JAには新規就農者や家畜農家への継続的な支援を期待しています。

古谷さんからは「年間出荷頭数30頭が目標。知夫村全体の出荷頭数の増加に貢献したい」と意欲をお話いただきました。

隠岐郡知夫村 古谷 光教さん



一所懸命 青年連盟

JAしまね島根おおち青年連盟

JAしまね島根おおち青年連盟は、島根県のほぼ中心にある邑南町、川本町、美郷町、江津市桜江町の盟友146名で構成されています。活動については、食農教育活動に力をいれており、管内の保育所、園に野菜苗を配布し、その収穫した野菜と盟友が作った野菜を使って「愛菜カレーの日」というイベントを開催しています。管内すべての保育所、園（16ヶ所）で、園児と一緒に野菜を切ったり、皮をむいたりしてカレーを作り、食べて交流しました。また、盟友が食に関する紙芝居を読んで園児達も熱心に聞いていました。今後もJAしまね島根おおち青年連盟は、未来を担う子供たちと一緒に、食農教育活動を続けていきたいと思ひます。



出雲地区本部 総代説明会開催



JＡしまね第5回通常総代会の開催に先立ち、出雲地区本部では6月14日から、5ブロック5会場で出雲地区本部総代説明会を開催いたしました。

石川本部長（6月14日時点）より、平成30年度を当期剰余金9億4,400万円（出雲地区本部）と好決算で終わることができたことについて御礼を申し上げるとともに、農業生産拡大に向けた出雲西部集荷所や、大型水耕栽培施設「出雲やさい新話ファーム」の建設など、自己改革への取り組みについてご報告いたしました。

竹下組合長（6月14日時点）はじめ、本店役職員も出席し、平成30年度事業報告、令和元年度事業計画、第2次中期経営計画等の議案について事前説明、質疑応答が行われました。

出雲地区本部 理事・地区本部運営委員

（敬称略）

1. 理事（地域枠）

ブロック	地区	氏名
中部	鳶巣	福島 隆
東部	灘分	岡田 達文
西部	園	藤江美由紀
河南	多伎	立脇 涉
南部	佐田	伊藤 篤男

2. 理事（全体枠）

ブロック	地区	氏名
（中部）	塩冶	珍部 誠
（中部）	上津	永瀬のリ子

3. 地区本部運営委員（地域枠）

ブロック	地区	氏名
中部	上津	金山 正和
	大津	板倉 明弘
	四絡	吾郷 道夫
	高浜	原 郁夫
	川跡	矢田 仁志
	塩冶	万代 和好
	今市	松本 球子
東部	平田	立石 行雄
	国富	原 広信
	西田	山根 茂
	久多美	福田 賢治
	伊野	常松 守男
西部	灘分	土江 弥生
	荒茅	松本 尚幸
	園	横田 敦行
	大社	藤間 一正
	荒木	日野美枝子
	遙堪	足立 勝司
	高松	石橋 貢

ブロック	地区	氏名
河南	神西	小村 隆司
	古志	吉井 忠夫
	神門	神田 真里
	多伎	石飛真佐子
	湖陵	大野 定利
南部	乙立	坂根 秀樹
	朝山	今岡 健治
	佐田	板垣 律子

4. 地区本部運営委員（全体枠）

ブロック	地区	氏名
青年連盟	高浜	原 浄司

出雲地区本部長退任のごあいさつ



代表理事組合長
石川 寿樹

この度、6月30日開催の鳥根県農業協同組合第5回通常総代会をもって、出雲地区本部の常務理事本部長を退任いたしました。

顧みますと、平成27年3月、JAしまね誕生と同時に出雲地区本部の副本部長に就任、翌28年6月に米原稔前本部長の後を受けて、本部長に就任いたしました。この間、曲がりなりにも重責が全う出来たのも、偏に組合員の皆様のご支援、ご協力の賜物であり、心から感謝申し上げます。

さて、合併以来4年半が経過し、確実にその成果が現れつつあります。とは言え、一緒になってよかったなあと、心底言えるレベルに達していないのも現実です。まだまだ調整すべき事項もたくさん残っていますので、そうした未調整を速やかに解決し、一体感を醸成していくことが、これからの課題だと思っております。

今ひとつは、「自己改革」のさらなる実践です。政府主導の「農協改革」に対抗し、われわれJAグループは独自の「自己改革」を掲げ、取り組んでまいりました。三本の柱の一つである「農業者の所得増大」については、生産資材価格の引き下げや米の買取制度を導入しました。また、「農業生産の拡大」については、出雲地区における販売高100億円の達成を目指し、各種のリースハウスや団地の造成、西部集荷所の建設、植物工場の建設など、新たな農業にも挑戦しました。

「自己改革」の取り組みは未だ道半ばですが、今後は岡田出雲地区本部長のもと、魅力ある農業の実現を目指し、更なる改革の前進を期待するものであります。

結びに、JAしまね出雲地区本部の更なる発展と組合員の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、退任の挨拶といたします。ありがとうございました。

出雲地区本部新役員就任のご挨拶



常務理事本部長
岡田 達文

この度、石川本部長の後を受けて、新しく本部長に就任いたしました。どうか、よろしく願いいたします。

さて、先般の通常総代会におきまして、役員体制が65名から40名へとスリム化し、JAしまねは新たなスタートを切りました。出雲地区本部においては、常勤理事が3名から2名、非常勤理事は9名から5名となり、地区本部運営委員は22名から28名といたしました。役員数が減ったことで地域の声が届かなくなった、ということがないよう、役職員一丸となり、頑張る所存です。

全国のJAグループでは、「自己改革」として、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に取り組んでおります。JAしまねにおいては平成30年度、農家の手取り最大化に向けてコメの買取制度の導入、青果物の輸出拡大、「しまね和牛」子牛増頭対策などを行い、また、こども倶楽部や、ローン金利引き下げによる子育て世代への支援など、地域の活性化につながる取り組みを行いました。

出雲地区本部では、営農・販売事業はもちろんのこと、信用・共済事業、ラピタ、JA-SS、メモリア施設などの生活関連事業を含め、「総合事業」を展開し、組合員・利用者の皆様からご支持を頂いて来りました。

このような“総合事業”の展開に異論を唱えるのが、政府の農協改革であります。政府は、准組合員の利用規制、信用事業代理店化など、急進的な改革を求めています。農協は、組合員の自主自律的な組織であり、農協自らの改革の中で取り組むべき問題と考えています。皆様に支持され、地域にとって必要なJAと認められますよう取り組んで参りますので、引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

「令和」という新しい時代を迎えました今年度につきましても、組合員・役職員が総力を挙げ、素晴らしい年度となりますようお願い申し上げます。挨拶といたします。



常務理事副本部長
珍部 誠

この度の役員改選により、新しく出雲地区本部の副本部長に就任しました珍部でございます。主に金融共済・生活・自動車燃料部門を担当し、本部長を補佐しながら職務を全うする所存でございますのでよろしく願いいたします。

JAを取り巻く環境は、TPPや経済連携協定に伴う農業の衰退、日銀のマイナス金利政策をはじめとした信用事業収益の悪化、准組合員利用規制を中心とした政府の農協改革など、正念場を迎えています。

厳しい経営環境ですが、今後も組合員・地域の皆様との対話を大切にしながら、農業振興・地域活性化を柱としたJA自己改革を実践し、地域になくてはならないJAをめざして業務改革に取り組んで参ります。

出雲地区本部の伝統と実績を受け継ぎながら、健全経営に努め、これまで以上に組合員・地域の皆様に必要とされるJAを目指して、日々邁進してまいります。今後ともより一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

令和元年度 JAしまね出雲地区本部

ちびっこ農業交流スクール



開校式

岡田本部長が「農産物がどうやって出来ているかを知り、安心して食べてもらう、食農教育の一環として行っています。怪我のないよう気をつけて、がんばって体験してください」と呼びかけました。



ちびっこ農業交流スクール

JAしまね出雲地区本部は7月29日、30日の2日間、出雲地区本部管内の小学生を対象に「ちびっこ農業交流スクール」を開校しました。今年は、4、5、6年生の35人が入学。スクール生は、農家ホームステイや収穫体験、施設見学などを通じて、収穫の喜びや食と農業の大切さを学びました。

神西沖町の株式会社おかずくらぶで きゅうりとピーマンの収穫体験



しっかり選んで
収穫したよ。

ピーマンは完熟すると赤くなることを教わりました。

生産者さんが大切に育てたきゅうりやピーマンを収穫させてもらいました！

Schedule

1日目	
開校式	JA出雲地区本部
収穫体験	株式会社おかずくらぶ(神西沖町)
午前	西部カントリー
JA施設見学	菌床製造培養施設
	パッキングセンター
午後	牧場体験
	ピザ作り体験
	伊藤牧場(佐田町)
	農家ホームステイ
	農作業体験
	各農家
	夕食
	1日目の感想文作成
2日目	
午前	朝食
	農作業体験
	各農家
午前	農家の方へお礼の手紙作成
	JA出雲地区本部
午後	夕食
	草木染体験
	ふたあいの家 縁
	感想文作成
	JA出雲地区本部
	閉校式

JAの施設見学

西部カントリーエレベーター



ここにお米が集められるんだね。

菌床製造培養施設



しいたけの菌床ブロックがどうやってできるか学びました。

たくさん質問していろいろ教えてもらったよ。

パッキングセンター



いろいろな機械を見せてもらいました！

佐田町の伊藤牧場で子牛とのふれあいとピザ作り

伊藤学さんから乳牛のことを教わりました。



Nice!

上きにトッピング
できたよ。



自分たちでトッピングしたピザを石釜で焼き上げました。

子牛の心音を聞いたり、ミルクをあげたりしました。



農家へホームステイ

スクール生は2~4人の10班に分かれ、出雲市内の農家にホームステイをしました。農家の皆さん、本当にありがとうございました。



小山町の鎌田章男さんのお宅では、ナスやカボチャなどを収穫させてもらいました。



船津町の横原輝夫さんのお宅では、スイートコーンなどを収穫させてもらいました。



お楽しみの昼ごはん

草木染め体験

家の光講師の影山和美さんからタマネギの皮を使った草木染めのやり方を教わりました。



世界に1つだけのハンカチができたよ!



昼食はJA出雲女性部西部地区の皆さん手作りの、地元野菜たっぷりのカレーライスです。



閉校式



楽しかった1泊2日の思い出にみんなで記念撮影。35人全員が無事にちびっこ農業交流スクールを修了しました。

農家の方へのお礼の手紙



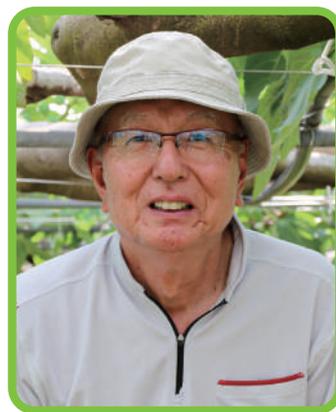
お世話になった農家の方へ、みんな真剣に手紙を書いていました。



安全・安心届けます

出雲で採れるうまいもん

いちじく

多伎いちじく生産部会
部会長 立脇 渉さん

生産者インタビュー

今月は多伎町久村でいちじく「蓬萊柿」を5.3アール栽培する、多伎いちじく生産部会部会長の立脇さんにお話を伺いました！

——いつからいちじくを栽培しておられますか？

わが家がいちじく栽培を始めたのは平成7年ごろです。水田の転作で始め、当初は両親と親戚の3人が栽培していましたが、10年ほど前に私が引き継ぎました。始めてから5年間は勤めをしながらの農業で、収穫時期には早朝から収穫し、出勤時間になると親戚に交代してもらうなど対応していました。

——いちじくの栽培について教えてください。

多伎いちじく生産部会では、大半が露地で栽培していますが、うちでは雨よけのためハウス栽培をしています。収穫は8月から約2カ月半続き、朝に収穫したものをその日に出荷します。とてもデリケートな果物で、雨が降るとすぐ傷むので、生果での出荷はできなくなります。また、皮が軟らかいので極力触らないよう心掛けています。触るのは収穫のときと選果のとき、パック詰めの際の概ね3回だけです。

堆肥を入れたり、剪定したりといった管理は1人でもできると思いますが、収穫期は毎朝の作業でパック詰めもあるので、人手が必要だと感じています。

——いちじくを栽培していて良かったことはなんですか？

美味しいと言って食べていただけるのが生産者としての喜びです。パックに名前のシールを貼って出荷していますが、「並んでいるのを見た」と言う話を聞くのも嬉しいですね。また、いちじくは単収が高い作物だと思います。収穫の大変さや天候に左右される面はありますが、それでも続けている人が多いのは高収入につながるからだと思います。

——今後の目標を教えてください。

昨年度多伎いちじくの販売金額は約6500万円でしたが、以前は1億円を越えていた時代もありました。一番いちじく栽培が盛んだったころを目標に、産地復活を目指していけたらと思います。今年はいちじくでリース団地を造成する計画があり、1ターン等での新規就農者の入植も予定されています。産地振興に期待しています。

——最後にいちじくPRをお願いします。

今年はや先の低温、そして少雨で心配していましたが、その後は順調で、少し遅れ気味ですが、玉太りも良く、糖度も十分な美味しいいちじくが育っています。ぜひ食べてください。



いちじくへの栄養

いちじくには、水分や糖質（果糖・ブドウ糖）が多く含まれています。果糖やブドウ糖は体内に吸収されやすいので、エネルギー源として即効性が高いという特徴があります。また、カルシウムも含まれており、骨や歯を丈夫にして骨粗しょう症予防や、ストレスからくるイライラの解消にも効果が期待できます。ビタミン類の含有量はそれほど多くありませんが、フィシンというタンパク質分解酵素が含まれています。フィシンには、消化促進作用や二日酔いを防ぐ効果があるので、食後やお酒を飲んだ後のデザートには、いちじくがおすすめです。

いちじくは、多くのカリウムも含んでいます。カリウムは血圧を下げる効果があるので、高血圧や動脈硬化などの予防に役立ちます。さらにペクチンをはじめとする食物繊維も豊富に含まれているので、便秘の改善に効果的です。

いちじくへの栽培

J Aしまね出雲地区本部管内のいちじく栽培は多伎地区を中心に、出雲・平田地区で栽培されています。栽培品種は、多伎地区が「蓬萊柿（ほうらいし）」、出雲・平田地区は「ドーフィン」「キング」が主流です。収穫時期は蓬萊柿・ドーフィンが8月上旬から10月末まで。キングは夏果専用種のため収穫は7月に迎えます。

多伎いちじく生産部会では、86名の生産者が約16ヘクタールで多伎いちじくの栽培に取り組んでいます。今年度は武田一男さん考案の「多伎いちじく令和と共にフレッシュスタート!!」をスローガンに、生果用・加工用合わせて出荷量124トン、販売金額7800万円を計画しています。

いちじくの収穫は、早朝から始まります。いちじくは果皮が軟らかく傷みやすいのでひとつひとつ丁寧に収穫します。収穫したいいちじくは、果頂部が大きく開きすぎていないか、傷がないかのチェックをして、生果用と加工用で選果します。選果したいいちじくは熟度や着色、大きさをそろえてパック詰めをして集荷場に集められます。

いちじくのおいしいレシピ

揚げだしいちじく



〈材料〉

- いちじく …… 2個
- 薄力粉 …… 大さじ3
- 片栗粉 …… 大さじ2
- 水 …… 大さじ3～4
- 大根おろし …… 適量
- サラダ油 …… 適量
- だし汁 …… 大さじ4
- しょうゆ …… 大さじ2
- 酒 …… 大さじ2
- みりん …… 大さじ1

〈作り方〉

- ①いちじくの皮を剥く。
- ②薄力粉と片栗粉を混ぜ合わせ、水を加えて衣を作る。
- ③②にいちじくをくぐらせ、180度の油でカラッと揚げる。
- ④小鍋にAを入れひと煮立ちさせる。
- ⑤皿に出汁を入れ、いちじくと大根おろしを盛り付けたら完成!

いちじく入りフルーツサラダ



〈材料〉[2人前]

- いちじく …… 2個
- グレープフルーツ …… 1/3個
- オレンジ …… 1/2個
- ベビーリーフ等 1袋
- レモン汁 …… 大さじ3
- 塩こしょう …… 少々
- オリーブオイル …… 小さじ2

〈作り方〉

- ①いちじく・グレープフルーツ・オレンジの皮を剥く。
- ②Aのドレッシングを良く混ぜ合わせる。
- ③お皿にベビーリーフと①を盛り付け、ドレッシングをかけたら完成!

ほっとで楽しいニュースが満載！

J Aしまね出雲青年連盟 各所でぶどう狩り体験実施

J Aしまね出雲青年連盟は6月23日、大社の川上隆子さんのぶどう園で、親子を対象としたぶどう狩り体験を行いました。農業の大切さ、収穫への感謝を実体験してもらう目的。例年実施しているイモ掘り体験に代えて、今年初めて企画しました。

当日は親子合わせて30人が参加し、甘い香りに包まれたぶどう園で、旬のデラウェアを収穫しました。

また、7月17日には同青年連盟大社支部が、同支部の手銭栄二さんのぶどう園に荒木幼稚園の園児26人を招き、ぶどうの収穫体験を行いました。地域の特産に興味を持ってもらおうと毎年行っており、今年で9年目を迎えます。

園児は5月と6月にも園を訪れ、生き物探しや探検をしながら生育を観察してきました。同日は盟友の手を借りながら、待ちに待った収穫を楽しみました。手銭さんは「体験をきっかけに興味を持ち、将来1人でもブドウ生産に携わってくれると嬉しい」と話しました。



収穫したぶどうを味わう参加者(6/23)



手銭さんに教わりながら収穫する園児(7/17)

出雲コーチン利用促進協議会定期総会開催 飼育者拡大へ原種供給体制整備

出雲コーチン利用促進協議会は7月22日、J Aしまね出雲地区本部で定期総会を開きました。J A行政機関、出雲農林高校、畜産農家ら約20人が出席しました。

「出雲コーチン」は、大正から昭和にかけて出雲地方を中心に飼育されていた地鶏です。平成29年6月に協議会が設立した当初は原種が103羽となっていました。7月1日現在で380羽まで増羽しています。昨年11月には有限会社藤増が「出雲コーチン」を活用した地鶏を提供する飲食店「鉄板焼藤増」をオープンしました。

令和元年度は、リスク分散と更なる増羽を目的に、飼育者の拡大を目指します。昨年度は愛玩用として飼育者の範囲を広げる飼育規程を作成しましたが、今年度は肉用鶏として飼育する生産者にも原種を供給する体制を整える計画です。

総会後は出雲農林高校の生徒が、「出雲コーチン」の人工授精を行ったことや、精子の凍結保存に取り組んでいくことなど、研究成果を発表しました。



研究成果を発表する生徒

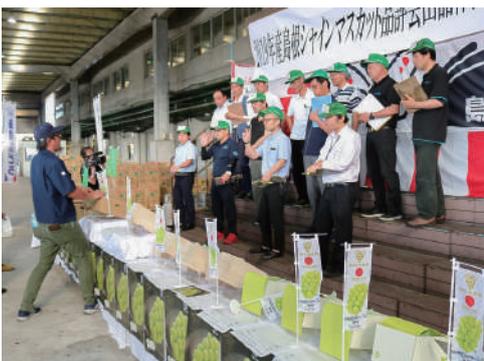
J Aしまねシャインマスカット品評会 最需要期を前に開催

J Aしまねは8月2日、出雲市の出雲大同青果(株)で、前日の品評会に出品された島根県産「シャインマスカット」の競売会を行いました。1房化粧箱8点、5キロ箱5点が競り落とされ、中国四国農政局長賞(5キロの部最優秀賞)に輝いた澤田勝さん(出雲地区本部)の5キロ箱が、当日最高値の22万円の値をつけました。最高値で競り落としたのはラピタで、その他競り落とした作品と合わせ、ラピタ本店で展示販売を行いました。

品評会は生産意欲、品質向上などを目的に毎年開催しています。今年は7月下旬までの曇天で、品評会に向けては糖度が上がりにくい状況でしたが、現在はその後好天により、順調に生育しています。当日は生産者の努力により、高品質なシャインマスカットが出品されました。

その他の入賞者は次の通りです。
▽島根県知事賞Ⅱ福原智宏さん(西いわみ地区本部)
▽島根県農業協同組合長賞Ⅱ桑原陽子さん(出雲地区本部、1房の部、5キロ箱の部)▽島根県果樹研究同志会長賞Ⅱ原田武敏さん(石見銀山地区本部、1房の部)▽青果市場社長賞Ⅱ門脇雅宏さん(出雲地区本部、1房の部)

部、1房の部、5キロ箱の部)▽島根県果樹研究同志会長賞Ⅱ原田武敏さん(石見銀山地区本部、1房の部)▽青果市場社長賞Ⅱ門脇雅宏さん(出雲地区本部、1房の部)



競売会では品評会に出品されたシャインマスカットが次々と競り落とされた

中部ブロック「こどもクラブ」 とうもろこしの収穫を体験

J Aしまね出雲地区本部中部ブロックの食農教育教室「こどもクラブ」で7月21日、とうもろこしの収穫体験を行いました。まき営農組合が開く「スイートコーン祭り」に合わせて開催し、児童52人が参加しました。

はじめに中部営農センターの職員が収穫について説明。ひげが茶色になっているものが収穫期だと聞いた児童は、ひげの色を確認しながら大きなとうもろこしを選んで1人2本ずつ収穫しました。

次回は9月に開催予定で、5月に田植えをし、6月の生き物調査などを通して観察してきた稲をいよいよ収穫します。



とうもろこしを収穫する児童

J Aしまね出雲集落営農組織連絡協議会 第17回定期総会開催

J Aしまね出雲集落営農組織連絡協議会は7月8日、J Aしまね出雲地区本部で第17回定期総会を開催しました。営農組合、県、市、J Aの関係者ら約110人が出席しました。

平成30年度は、先進地視察で経営の多角化や加工への取り組み、後継者育成等について意見交換を行ったほか、斐川町集落営農組合連絡協議会と合同研修会を行うなど積極的に活動したことを報告。令和元年度も引き続き、持続可能な水田農業、農業経営をしていくため、研修会の開催・参加等で組織強化に努めることを申し合わせました。

小村正会長は「後継者、若者のリーダーを育成し、組織の維持・拡大を目指してもらいたい」と呼びかけました。



あいさつをする小村会長

そば打ち甲子園に向け練習 出雲農林高校

出雲農林高校の生徒が、8月26日に東京都で行われる「第9回全国高校生そば打ち選手権大会」（そば打ち甲子園）に向けて練習を重ねています。同校は平成27年から出場し、今年で5回目。昨年出場した食品科学科の3年生6人（競技者4人、補助者2人）が団体戦に挑み、「そば処出雲」を全国にPRします。

5月からはJ A総合指導課の職員が指導にあたり、練習も本格化。8月4日には「手打ちそば 風月庵」を訪れ、本職の方から出雲そばの打ち方を学びました。基本的な部分も改めて指導してもらい、生徒の八幡寿梨さんは「改善点があったので、本番までに修正していきたい」と手応えを感じていました。指導した同店の大野貴志さんは「皆とても上手だった。競技とは違う面もあったと思うが、出雲そばの打ち方、良さを知ってもらえたら嬉しい」と話しました。

生徒たちは、8月19日には出雲市役所で市長を前に練習の成果を披露する予定です。



大野さんの指導を受け練習する生徒

水稻の病害虫調査を実施 J Aしまね出雲稲作研究会

J Aしまね出雲稲作研究会は7月16日、J Aしまね出雲地区本部管内の水田で病害虫調査を行いました。同研究会は、平成20年にヒメトビウンカが大量発生し、縞葉枯病が多発したことを受け、翌平成21年に病害虫調査員を設置。5～7月にかけて3回程度調査を実施し、病害虫の発生が多い場合はJ Aを通じて管内の水稲農家へ周知しています。

当日は、調査員14人が各々の圃場で、粘着板を使った払い落とし調査と、捕虫網でのすくい取り調査を行いました。調査後は同地区本部に持ち帰り、J Aの営農指導員らと、ヒメトビウンカ、カメムシなどの対象病害虫をルーペで確認し集計。今年ヒメトビウンカの発生が多い状況でしたが、保毒虫は確認されず、地区本部管内で縞葉枯病の発生はありません。

同研究会の立脇務会長は「状況に応じて注意喚起していく。今後の防除に役立てたい」と話しました。



病害虫を確認する調査員ら



国富支部「西代だんごの会」



乙立支部「手話サークルにじ」

東部地区でJAかがやく女性交流会&家の光大会を開催

JAしまね出雲女性部東部地区は7月28日、JA平田中央支店で「JAかがやく女性交流会&家の光大会」を開催しました。女性部員約200人が日頃の活動の成果を発表し合い、部員同士の親睦・交流を深めました。

支部活動発表では、国富支部の「西代だんごの会」が登場。寸劇「おばばとおばばの茶のん話」では、寄り合いでの見慣れたやり取りが見事に再現され、会場は笑いの渦に包まれました。そのほか、歌を交えたコントや、スコップ三味線、幕間のハーモニカなど、盛りだくさんの内容でした。

また、南部地区の今岡千恵子地区長が、昨年度の優良活動グループ表彰仲間づくり部門で最優秀賞となった乙立支部「手話サークルにじ」の立ち上げ秘話、活動内容を発表。応援発表では手話うた2曲を観客席の皆さんと一緒に歌いました。

東部地区の山形由紀地区長は「どの発表もステージと観客席との一体感があり、今年は例年にも増して盛り上がったと思います」と話しました。

このほか、島根県住みます芸人の奥村隼也さんによる笑い溢れる料理講座や、JA南部ブロックの松浦里美生活指導員の介護予防運動も実施。作品展示コーナーには各支部が作成した手芸作品などの力作が多数並んだほか、加工品や特産品の販売コーナーも設けられました。

作品展示&特産品販売



荒茅支部 「パッチワーク教室」

代表 大國 出美さん

JAしまね出雲女性部荒茅支部の「パッチワーク教室」は、月2回、第2、第4月曜日に荒茅支店和室で活動しています。メンバーは現在9人。高松支部の女性部員を講師に、パッチワークでタペストリーやカバンなどを作っています。家の光記事を参考にしたり、メンバー同士でも教え合ったりしながら、楽しく活動しています。

結成は平成25年。荒茅支部で何かグループ活動を始めて仲間づくりにつなげようと、部員たちにアンケートを取った結果、人気だったのがパッチワークでした。活動の中心はパッチワークですが、時にはストレッチや体操にも取り組むなど内容は臨機応変。6月24日には、家の光記事を活用し、防災ブレスレッドを作りました。

普段の活動のほか、親睦会や1日研修などの交流イベントも定期的に行っています。



大國代表より一言

結成して6年目になり、それぞれ自由にいろいろなものを作っています。作品は、女性部まつりや女性部荒茅支部の総会、長浜地区の産業文化祭などで展示もしていますので、ぜひ見てください。

荒茅支店 山根支店長からのメッセージ

一日の家事を終えた夜に活動をしておられ、お疲れとは思いますが、本当に好きだから続けているのだと思います。今後も、和気あいあい、楽しく継続していきましょう!



7月
講座

「食と脳(農)」

いずもJA
シニア女子大学
～みずき～



島根県立大学学長代行の山下先生が講演

JAしまね出雲女性部は7月24日、JAシニア女子大学の7月講座「食と脳(農)」を開きました。島根県立大学学長代行の山下一也先生を講師に招き、認知症予防について学びました。聴講生を含め、約40人が参加しました。

高齢化が進むにつれ、身近な病気と感じるようになってきた認知症。講座では、認知症になる前のグレーゾーンの段階である軽度認知障害(MCI)について説明し、早期に発見することの重要性と、認知症予防によいといわれる食事や生活習慣について伝えました。

山下先生は、認知症予防に効果的な食べ物として、「DHA」「EPA」が豊富な青魚や、体内で「DHA」「EPA」に変換される「 α -リノレン酸」が豊富なエゴマなどを紹介。生活習慣としては適度な運動を続けることと、頭をしっかりと使うこと、社会とのつながりが豊かな生活をするのが重要だと話しました。「今日用(今日、用がある)」「今日行く(今日、行くところがある)」が大事だという先生の言葉には、多くの女子大学生たちがうなずいていました。

参加した女子大学生は「ユーモアあふれる講演でとても楽しかった」「10年、20年先を見越して日々生活したい」と話しました。



7月講座

「雅な世界へ誘われ… 香道体験講座」



順番に香りを聞く女子大学生



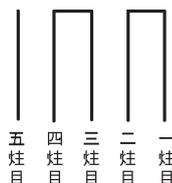
結果を紙に書き記した

JAしまね出雲地区本部は7月11日、出雲文化伝承館で、いずもJA女子大学7月講座「雅な世界へ誘われ… 香道体験講座」を開きました。女子大学生13人が参加。香道御家流和草会主宰で出雲文化伝承館特別顧問の大谷香代子さんから、香道の歴史や香の種類、「組香」について教わりました。

「組香」とは、何種類かの「香木」の香りを聞き、組み合わせを当てる遊びです。今回はその中の「源氏香」を体験しました。「源氏香」では、5つの香りを順番に聞き、同じ香りだと思ったものをつなげて52種類の図形(源氏香の図)で表します。女子大学生たちは、それぞれ5つの香りを聞き、これだと思ふ源氏香の図を筆で紙に書き記しました。

梅雨時期は湿度が高いため香りが立ちやすく、絶好の環境での講座となりました。体験を通して香の聞き方、楽しみ方を学んだ女子大学生たちは「香の図が興味深かった」「伝承館の雅な空間で贅沢なひと時が過ごせた」などと感想を話しました。

源氏香の図



縦線5本で香りを表し、同じ香りをつなげて図形にしたもの。5つ全てが同じである場合も、5つ全てが異なる場合もある。図形は52種類あり、源氏物語54巻のうち、1巻、54巻を除く52巻の名前が当てはめられている。図は「若紫」で、一柱目と二柱目、三柱目と四柱目が同じである場合。

輝け!
いずもスマイル

20年前から「菜っちゃん市場」運営

東福町の久多美会館（旧JA久多美支店）の一部を活用して営業する農産物直売所「菜っちゃん市場」。地元の方を中心に毎日約50人が訪れるこの市場を運営するのが、地元農家らで組織する「げんき菜村」の皆さんです。農家の生産意欲高揚につなげようと、平成11年6月に結成し、現在39人の組合員が地元の農産物などを出品しています。

消費者の皆さんに喜ばれる新鮮で安い農産物の出品に努め、旬の野菜や果物のほか、切花、サカキ、シブキなどの花卉も人気です。このほか、店頭にはパンやお菓子、インスタント食品なども並び、地域の方の生活を支える商店としても機能しています。

高齢化による脱退等がありますが、定年退職して農業を始めた方など、新たに加わる方もおられます。「げんき菜村」の南目組合長は「こうして販売できる場所があることは、生産者にとってやりがいになります。新たな『げんき菜村』の組合員も望んでおりますので、興味のある方はぜひお声がけください」と話しました。

出雲市東福町

げんき菜村 組合長 南目 章徳さん



出品されている花を手に笑顔の南目組合長



菜っちゃん市場

- 場所/久多美会館
(旧JA久多美支店)
出雲市東福町177-1
- 営業時間/7:00~11:30
- 定休日/日曜日

あなたの俳句・川柳を募集します

◆応募方法
俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、ハガキまたはFAXでご応募ください。
※9月号掲載分の俳句の応募メ切りは8月30日金必着です。
※10月号掲載分の川柳の応募メ切りは9月30日必着です。
※お一人様それぞれ3句までご応募いただけます。

◆あて先
〒693-18585 出雲市今市町106-11
JAしまね出雲地区本部「俳句の広場」係または「川柳の広場」係 (FAX: 2116249)
※応募作品は自作で未発表のものに限り、応募作品の一切の権利は、JAしまね出雲地区本部に帰属するものとします。
※月間最優秀賞にはUFJニコス券3,000円分、月間優秀賞にはUFJニコス券1,000円分を進呈いたします。
※受賞作品については地区名、氏名(または雅号)を掲載します。

雨降ると腰と膝とがやんちゃ言う

小伊津町 佐藤 勝枝

新盆に午丑供え佛待つ

武志町 鬼村 吉郎

赤い靴昭和平成令和踏む

萩野町 戸谷 てる美

◆月間優秀賞

選者評

子等の巣立ったマイホームは、夫婦二人となっている。子等が付けた落書きや傷痕は、今では懐かしい思い出となり、二人の宝なのかも知れない。

落書きも宝となって子等巣立つ

白枝町 小白金 房子

◆月間最優秀賞

川柳の広場

選者

竹治ちかし先生



おたより広場 読者のページ

読者のみなさんからの投稿コーナーです。最近あった「楽しかったこと」「最近思うこと」「感動したこと」...ぜひお聞かせください。写真や絵手紙・イラストも大募集!!

おたより大募集

皆さまからの「おたより」を募集しております。八ガキに、聞いて欲しいこと、日々思うこと、俳句や川柳、絵手紙や写真などのご投稿お待ちしております。 (匿名希望の方は明記してください)

〒693-8585
出雲市今市町106番地1
JAしまね出雲地区本部内
「広報誌JAしまねびより」編集係 宛
✉メールでの投稿也大歓迎!
izumokouhou.izm@ja-shimane.gr.jp

いる場所が描かれていて嬉しかったです。

(佐田町 K・Yさん)

●八雲風穴、
久々に行ってみよう!!

(塩冶有原町 N・Mさん)

JA：先月号は出雲地区本部の特

集で、表紙も佐田町の八雲風穴でした!子どもところに初めて行ったときは、とても新鮮で不思議だったのを覚えています。

●今年の歌謡ショーは丘みどりさん。元気でコンサートに出かけられることを楽しみにしています。

(万田町 A・Kさん)

JA：今年の年金受給者の集い・ゆとり会では、JAしまね統合5年出雲地区本部謝恩企画として「丘みどりコンサート」を企画しています。楽しみにしていただきありがとうございます。

●メロンはそのまま食べることがほとんどですが、メロンのおい

しいレシピを見てぜひタルトを作ってみようと思いました。疲労・体力回復効果もあるなんて初めて知ったので、今年はたくさん食べて暑い夏をのりきりたいです!!

(築山新町 H・Nさん)

JA：そのままでも魅力抜群のメロンですが、主役の素材を全面に出した料理を紹介していますので、ぜひお試しくださいませ!

●ラピタの産直コーナーは、いつも新鮮な野菜がたくさん「出品」されていてよく利用しています。が、出品者のレベルアップのための研修会を何種類もしておられるのが質の高さの秘密だということが良く分かりました。これからも期待しています。

(国富町 Y・Tさん)

JA：商品一つひとつに名前が貼ってあり、誰が出品したかが分かることも、「安全」「安心」につながっていると思います。これからもラピタの産直コーナーをぜひご利用くださいませ!

●先月号で、ドローンを操縦し水稲の種子を播く記事がありました。が、私もドローンの免許を取得

し、来年から自営業で使用していくつもりです。出雲の農業発展に尽力したいと思います。

(佐田町 M・Yさん)

JA：とても力強いコメントをいただきました!ドローンの活用はかなり広がっていると思いますし、スマート農業と言われるような技術が、身近になってきたと感じています。

●しまねうれしびで紹介されていたとうもろこしは。とてもおいしそうだったので早速作ってみました。とうもろこしの芯を入れて炊くのはビックリ!!でもとうもろこしの芯からいい味が出ておいしさが増してとてもおいしかったです。

(塩津町 M・Fさん)

JA：レシピをご活用いただきありがとうございます!色合いが楽しいごはんでしたね。とうもろこしも今がシーズンですので、おいしさもひとしおだと思います。



JA：先月の「島根のいいもの再発見!!」に登場いただいた桑原さんは、販売促進にも尽力され、いろいろなイベントで活躍されているお姿を目にします。今月号のほつとニュースに掲載しております品評会でも入賞されてました!

●シャインマスカット生産者の桑原さんに感心しました。ご主人との将来設計も立てて、最初は自分で勉強。気持ちはあってもなかなかできないことです。私も身体が元気ならいろいろと挑戦してみたいと思いました。

(高松町 O・Kさん)

●7月号の表紙の八雲風穴は佐田町の有名なスポットです。知って



出雲市農政会議だより

令和元年8月17日

発行元：出雲市農政会議(出雲市今市町106番地1 JALしまね出雲地区本部 営農企画課内)
発行責任者：事務局長 原田 透

No.85

【活動内容報告】

○第25回参議院議員通常選挙に係る支援活動について

平素は、農政会議諸活動につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第25回参議院議員通常選挙全国比例区におきましては、山田としお候補、鳥取・島根選挙区におきましては、まいたち昇治候補をそれぞれ農政会議推薦候補として支援活動に取り組んで参りました。お蔭様をもちまして、両候補とも無事当選を果たすことができました。地域の皆様におかれましても、多大なるご支援とご協力を賜りましたことに対し、厚くお礼申し上げます。

今後は、当選議員との一層の連携を通じて、農協改革をはじめとする農政諸課題の解決、活力ある地域農業の実現に向けて取り組んで参りますので、一層のご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

キャプション

健康ライフかわら版

7・8月は『熱中症予防強化月間』です！



★熱中症予防には「水分補給」と「暑さを避けること」

こまめに水分補給

- ・のどの乾きを感じる前に早めに水分を取りましょう。
- ・朝起きた時や、寝る前に水分補給。
- ・たくさん汗をかいた時は塩分補給も大切。

涼しい環境をつくろう

- ・エアコンや遮光カーテン、すだれなどを上手に使いましょう。

服装や保冷剤の利用

- ・通気性のよい、吸湿・速乾の衣服を着用しましょう。
- ・体を冷やすため、シャワーや保冷剤などを活用しましょう。

過信は禁物

- ・外仕事の時には特に注意！
- ・外出時は、帽子・日傘などを使いましょう。
- ・直射日光の強い時間帯の外出は控えましょう。

★熱中症になった時の対処法！

- 意識がある、反応が正常な時
 - ・涼しい場所へ避難させる
 - ・衣服を脱がせ、身体を冷やす
 - ・水分・塩分を補給する



★こんな時はためらわず救急車を呼びましょう！

- 自分で水が飲めず、脱力感や倦怠感が強く、動けない
- 意識がない（おかし）、全身のけいれんがある

熱中症ひとことメモ

室内の気温や湿度の状況を知ることが熱中症予防に効果があります。「いま自分のいる環境がどのような状態なのか」を知ることが、熱中症予防の大切なポイントです。熱中症の発生には、体調が大きく影響します。自分のいる環境を知ることとあわせて自分の体調にも敏感になりましょう。

お問い合わせ先 出雲保健所 健康増進課 ☎21-8785

JALしまね

キャンペーン期間 2019.6.3(月)ー8.30(金)



JALしまねは、しまねの農業と皆さまの資産形成を応援します!

サマーカーンペーン 2019

貯金コース

期間中、下記のいずれかのお取引をご契約いただいた個人の方の中から抽選で400名様^(※1)に

島根の特産品 (3,000円^{相当}) プレゼント!



何が当たるかはお楽しみです。

対象のお取引

- ① 定期貯金……………10万円以上新規または、増額でご契約いただいた方 (期間1年以上) ^(※2,3)
 - ② 積立定期貯金…月額1万円以上新規または、増額でご契約いただいた方 ^(※2,4)
 - ③ 定期積金……………36万円以上新規にご契約いただいた方 (期間3年以上) ^(※2,4)
- (※2) 上乗せ金利の適用があるものを除きます。(※3) 窓口でお預入いただいたものに限ります。(※4) 口座振替での掛込に限ります。



抽選ではずれた方で下記のいずれかのお取引がある方の中から抽選で300名様^(※1)にJAおさいふカードポイント **500ポイントプレゼント!**

- 給与振込口座のご指定
- 年金振込口座のご指定
- 年金受取のご予約
- JAネットバンクのご利用
- JAカードのご利用

(※1) JALしまねサマーカーンペーン2019(投資信託・iDeCoコース)と合わせた人数になります。

投資信託・iDeCo コースもあります!

JALしまねでは、資産運用、資産形成の考え方を紹介する専門職員がさまざまなお悩みにお答えします!

*投資信託の口座開設等のお手続きは投資信託取扱い店舗で行います。

JALしまねは、どなたでもご利用いただけます。くわしくはお近くのJA窓口までお問い合わせください。 [JALしまね](#) [JALしまね](#)



出雲地区本部理事会報告

7月25日に開催された出雲地区本部理事会の中で協議された主な議題と内容は次の通りです。

〈協議事項〉

(1)長浜支店建築について

店舗再編計画の一環として荒茅支店と園支店の店舗を統合いたします。信頼され親しまれる店舗を目指し、令和2年2月25日(火)にオープンする予定です。

(2)令和元年度職員(正職員・店舗職員)高卒採用募集について

令和2年3月に高校卒業予定の方の採用募集を行います。詳しくは、人事課(☎21-6012)にお問い合わせください。

〈報告事項〉

(1)国庫補助事業の入札結果報告について

(2)生産資材(肥料・飼料・農薬)の取扱要領の一部変更について

消費税率の変更にあわせ、10月1日より奨励金を変更させていただきます。

(3)令和元年6月末事業実績について

(4)令和元年度通常総代会開催報告について

ブロック別総代説明会(6月14日~20日)、JALしまね通常総代会(6月30日)を開催いたしました。総代の皆様から頂戴したご意見は、今後の事業運営に反映させていただきます。

(5)日本農業新聞の購読推進について

タテのカギ

- ① テレビのリモコンにはたくさん付いています
- ③ くだらかな——が続く丘陵地
- ⑥ 合唱部が練習するもの
- ⑦ 耳かきと共に行方不明になりやすいそうです
- ⑧ 今からこれじゃ、——が心配だなあ
- ⑩ 仲人から紹介を受けて、伴侶候補と会います
- ⑭ 宴会でグラスをみんなで掲げて……
- ⑯ 相撲の勝敗を記録した——表
- ⑱ ゴホゴホゴホ
- ⑲ 価格が高くなること
- ⑳ 煮物などに使う、アルコールを含む調味料

ヨコのカギ

- ① 9月1日は——の日。非常持ち出し袋や避難経路を確認しましょう
- ② 高知の名物料理、カツオの——
- ③ 皮膚の表面にある細かな模様。——の細かい肌
- ④ 食器を拭く布です
- ⑤ いがに守られた実がなります
- ⑦ 晴れた十五夜にはとても明るい
- ⑨ 矢を射る道具
- ⑪ 陽の反対語
- ⑫ 国や地方自治体に納めます
- ⑬ 首都はモスクワ。大きな国です
- ⑮ 肉料理に添えたり、刻んでスープに浮かべたりする香草
- ⑯ 傘にも凧(たこ)にもあります
- ⑰ バラの茎にある突起

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	6	8			16	19
2				13		
		9	10		17	
	7			14		
3			11			20
4				15	18	
5			12			

答え A B C D E

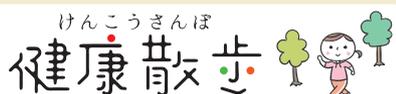
応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒693-8585 出雲市今市町106-1
JAしまね 出雲地区本部 情報システム課 「クイズ」係
2019年9月5日（木）（当日消印有効）

先月号の答え 「キモダメシ」

1	リ	2	ツ	3	シ	4	ユ	5	ウ	6	カ
7	マ	8	ッ	9	チ	10	マ	11	キ	12	キ
13	シ	14	ミ	15	ジ	16	ユ	17	コ	18	コ
19	ユ	20	マ	21	モ	22	ウ	23	オ	24	オ
25	ク	26	ロ	27	ウ	28	ト	29	バ	30	リ
31	ダ	32	ウ	33	ン	34	カ	35	ン	36	ン
37	イ	38	ト	39	ウ	40	メ	41	ダ	42	ル

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。



要注意、熱中症

JA島根厚生連

毎日暑い日が続いていますね。夏は熱中症に注意が必要です。重症化すると命に関わります。熱中症の症状を理解し、予防に努めましょう！

● 熱中症は、高温多湿な環境に私たちの身体が適応できないことで生じる様々な症状の総称です。以下のような症状が出たら、熱中症にかかっている危険性があります。

1. めまいや顔のほてり
2. 筋肉痛や筋肉のけいれん
3. 体のだるさや吐き気
4. 汗のかき方がおかしい（何度拭いても汗が止まらない、まったく汗が出ないなど）
5. 体温が高い、皮膚の異常
6. 呼びかけに反応しない、まっすぐ歩けない
7. 水分補給ができない

このような症状が出ないように、日頃から熱中症の予防・対策をおこないましょう。

● 熱中症の予防のための 3つのポイント

- ① **脱水対策**——のどが渇かなかつたり、汗をかかなくても水やお茶などでこまめに**水分補給**します。大量に汗をかくと、汗とともに塩分（ナトリウムなど）も失われます。その場合は、水分に加え、塩分補給が必要です。スポーツドリンクを利用してもよいです。入浴時や睡眠時にも汗をかいているので、入浴前後、寝る前、起床時にも水分を補給しましょう。
- ② **体の内部の温度を上げない**——外出するときは、**11～15時ごろの日中の暑い時間帯**を避けます。また、外出や屋外での活動をする場合は、天気予報や環境省の「熱中症予防情報サイト」で、暑い日や時間帯を確認するとよいでしょう。外出したら、こまめに涼しい場所での休憩をはさみ、水分補給をします。
- ③ **室内を涼しくする工夫**——熱中症の約40%は室内で起きているというデータもあります。部屋はカーテンなどで日ざしを遮り、**エアコンと扇風機を併用**して温度を下げましょう。特に高齢者は、暑さを感じにくい場合があります。**温度計や湿度計**を使って数字で確認し、温度は28℃、湿度は70%を超えないようにします。

正しい理解・適切な予防で、暑い夏を乗り越えましょう！！

ハチを見かけたら巣づくり警報!

無料調査
ハチ駆除

近寄らず、触らず!!
ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は
最寄りのJAまでご連絡ください。
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先

最寄りのJA各支店・
支所にお問い合わせ
ください

取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

Kodama 株式会社 コダマサイエンス

■本社 / 島根県松江市西嫁島2-8-23 ☎0852-43-0852

■松江営業所 / ☎0852-26-6757 ■江津営業所 / ☎0855-52-6852

■益田営業所 / ☎0856-22-5390 ■隠岐営業所 / ☎08512-2-2471



**島根県立農林大学校
入学試験実施のお知らせ**

- 募集人員** ①農業科(有機農業・野菜・花き・果樹・肉用牛) / 40名【修業年限2年】
- ②林業科 / 20名【修業年限2年】
- ③短期農業経営者養成科 / 5名【修業年限1年】

- 試験日** 学校長推薦 / 令和元年10月30日(水)
- 一般前期 / 令和元年12月11日(水)
- 一般後期 / 令和2年2月13日(木)
- 地域推薦 / 随時
- 自己推薦 / 令和元年10月30日(水)、31日(木)
- ※一般後期試験は実施しない場合があります。

- 試験会場** 島根県立農林大学校 (大田市)

◆詳しくは◆
農林大学校の
ホームページ、または
農林大学校
☎0854-85-7012
まで。

セール期間 令和元年 8/17土 8/26月

夏物衣料

売場改装

売りつくし

PRICE DOWN!

SALE セール

開催中!

30%・50%~ イイもの早い者勝ち!

MAX 70% OFF

ラピタ本店 2F 衣料品コーナー

赤梨の収穫体験ツアー

ご招待キャンペーン

抽選で

ペア10組20名様ご招待!!

実施日 9月15日(日)

収穫場所 神門地区周辺の梨畑

応募期間

8月17日(土)~27日(火)まで

参加対象

小学生6年生までのお子様と保護者の方2名様

応募方法

上記期間中にラピタにておさいふカードを提示してお買物をしていただき、2,000円以上(複数枚でも可)のレシートを店内備付の応募箱にご投函ください。

※詳しくは店頭にて

ラピタ本店生活課より

シロアリ 無料 調査実施中!!

床下のシロアリ無料調査にお伺い致します。
お気軽にお申し込み下さい。
シロアリは気付かないうちに住みついているかも。早めの防除があなたの家を守ります。



JAのハチの駆除

ハチのシーズンになります。ハチは近寄らず、触らず!!
最寄りのJA各支店に連絡下さい。ハチの駆除はプロにお任せください!!



お問い合わせ先
出雲地区本部 ラピタ本店生活課
TEL:0853-21-6083

取扱業者
Kodama 株式会社 **コタマサイエンス**
(公社)日本しろアリ対策協会企業登録(鳥取県002・鳥取県002)
■本社/松江市西嫁島2丁目8-23 ☎0852-43-0852
■松江営業所/☎0852-26-6757



二十世紀梨

ラピタの梨ギフト

新甘泉

お届け 期間	8月下旬頃～ 9月下旬頃	承り 期間	ご注文日	8月19日(月) ごろまで	8月20日(火)～ 初出荷まで	9月1日(日) 以降
			お届け 目安	初出荷より 随時発送	9月5日(木) ごろの発送	9月10日(火) 前後の発送

全国発送承ります

全国一律送料 1箱 **300円** (税込)

※ラピタにてご注文された梨(産物用)に限らせていただきます。
※お届けの期日は指定できませんのでご了承ください。※クロネコヤマトでの発送となります。

承り順に発送して参りますが、産地での梨の生育状況、サイズ、重量により発送が前後する場合があります。(期日指定は出来ませんのでご了承ください。)

お申し込みはラピタ本店・各店で

期間 7/1日～8/31日

2019 サマープラン Summer Plan

夏のご宴会をどうぞ!

バイキングコース
(30名様から承ります)

飲み放題付! (2時間)

お1人様 **5,500円**

オードブルコース
(10名様から承ります)

飲み放題付! (2時間)

お1人様 **6,000円**

さらに選べる特典! お好きな特典をいずれか1つお選びいただけます。

- セルフコーヒースervice!**
セルフサービスとなります。黒くなり次第、終了となります。
- 飲み放題グレードアップ!!**
(上記飲み放題コースにプラス...)
カクテル・ノンアルコール・ワイン・梅酒・ウイスキーをプラス!
- 飲み放題90分で、各コース500円引き!!!**
乾杯から90分(1時間半)の時間制限ついで、各コースおひとり500円引き(注)制限時間を過ぎますと、通常価格となりますのでご注意ください。

※「選べる特典」は、ご利用日の9日前までにお選びください。
※お選び頂いた「特典」の変更はできません。また「特典」の併用はできません。
※宴会終了時間は21時までとさせていただきます。それ以降のご利用の場合は別途延長料金5,400円(税込、サ別)を申し受けます。
※人数変更はご利用日の前日の午前中までとさせていただきます。それ以降のキャンセルにつきましては、おひとり当り04,000円を申し受けます。(特典は適用はされていません。)

※上記プランには、消費税・サービス料・会場費が含まれています。プラン以外のご利用分については、別途サービス料がかかります。

ラピタウエディングパレス
お問合せご予約 **TEL (0853) 21-6063**

ラピタ BEER GARDEN 2019

ビアガーデン

9月末日まで開催!

うれしい低価格!!

男性	3,300円 (税込)
女性	2,800円 (税込)
中学生 20歳未満	2,000円 (税込)
小学生	1,500円 (税込)
幼児 (3歳～6歳)	500円 (税込)

営業時間 PM 5:30～PM 9:00まで

会場 **ラピタ本店屋上**

ご予約承ります 5名様以上

ご予約・お問合せフロント
TEL:0853-21-6063
(お問合せ時間 AM9:30～PM8:00)



簡単ガパオライス



ご飯の上にピリ辛いひき肉を乗せ、目玉焼きと一緒に食べるタイ料理の定番ご飯「ガパオライス」です。日本人の口にも合う味です。暑い夏にピッタリの料理で、フライパンひとつで作れるので、サッと手早く食べたい時にもおすすめです。

●材料（2人分）

鶏ひき肉……………	180g	赤唐辛子（小口切り）……	1本
酒……………	大さじ1	卵……………	2個
赤パプリカ……………	1/2個	オイスターソース、ナンプラー	…………… 各大さじ1
ピーマン……………	60g	砂糖……………	小さじ1/2
玉ねぎ……………	60g	サラダ油……………	大さじ1
バジル……………	20枚	ごはん……………	2人分
にんにく（みじん切り）…	5g		

●作り方

- ①玉ねぎ、ピーマン、赤パプリカは1cm角切り。
- ②フライパンにサラダ油、にんにく、赤唐辛子を入れ香りをだす。
- ③鶏ひき肉を入れ、酒をふりかけて炒める。
- ④玉ねぎ、ピーマン、赤パプリカを入れ炒め、しんなりしたら①の調味料を入れる。
- ⑤手でちぎったバジルを軽くまぜ、火を止める。
- ⑥目玉焼きを焼く。
- ⑦皿にごはんを盛り、⑤と目玉焼きをのせる。



JA共済ご加入時におけるおさいふカードへのポイント付与廃止のお知らせ

平素はJAしまねをご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、当JAでは、新規でJA共済にご加入いただいたご契約者のみなさまに、「おさいふカード」へのポイント付与を行っておりましたが、**行政庁の指導により**、令和元年9月30日までの新規共済契約をもちまして、おさいふカードへのポイント付与を終了させていただきます。何卒ご了承いただきますよう、よろしくお申し上げます。

今後も組合員・利用者のみなさまにご満足いただけるサービスの提供に努めてまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通（ののむらなおみち）先生に描いていただいています。

今月の表紙は大田市三瓶町の「浮布池」です。浮布池は、三瓶山の堆積物が谷の出口をふさいで出来た堰き止め湖で、池の南岸近くにある中の島には瀬幣姫神社（にべひめじんじゃ）が祀られています。池の北岸からは水面に浮かぶ神社の鳥居が望め、幻想的な風景が当地に伝わる女性と大蛇の悲恋伝説を連想させます。

編集後記

本店トピックスでご紹介した「アグリミーティング」と「大産直市」。私も高校生ブースを見学しましたが…、高校生たちがキラキラした眼差しで商品を説明してくれると買わないわけにはいきませんよね。おすすめされるがまま、ついつい買すぎてしまいました。後悔はありません。おじさんは格好をつけたかったのです。高校生のみんな！おいしかったよ！（和）

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

